

令和4年度 地理歴史 科
教科名等

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
世界史B	世界史B	2	A B C D E F	3	必履修	105 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
授業形態	講義、演習
教科書	世界史B，東京書籍
使用教材等	グローバルワイド 最新世界史図表，第一学習社 東書の世界史B 入試対策問題集，東京書籍

科目の目標・内容等

学習目標	16世紀から19世紀までの主にヨーロッパを中心とした歴史について、歴史的な見方・考え方を働かせ、大きな枠組みと展開を多面的・多角的に理解し、考察できる力を身に付
学習における留意点	授業を大切にし、勉強に必要な準備を怠らないこと。自分の言葉で表現したり、社会事象の意味や意義、特色などを主体的に追究したり、学習に意欲的に取り組むとよい。
予習・復習	教科書や問題集を使って、繰り返し学習するとよい。
評価方法	定期考査・提出物・平常点(授業態度等) 等

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	大交易時代 ルネサンス 主権国家形成と宗教改革 オランダの繁栄と英仏の追い上げ 18世紀のヨーロッパと啓蒙専制国家 近世ヨーロッパの社会と文化	大交易時代などをきっかけとしてヨーロッパ本位の世界の一体化が進んだことを理解する。 戦争の長期化・大規模化と宗教改革によって主権国家が形成されたことを理解する。 西欧諸国の政治変化と経済力の移り変わり、東欧諸国の西欧近代化改革について理解する。 17～18世紀のヨーロッパの社会と文化について理解する。	15～18世紀のヨーロッパの変容と、ヨーロッパの世界進出に伴う世界の変容について、十分に理解している。 主体的に学習に取り組めた。
2	激化する経済覇権抗争 産業革命と社会問題の発生 合衆国とラテンアメリカ諸国の独立 フランス革命とウィーン体制 自由主義の台頭 イギリスの覇権とヨーロッパ諸国 南北アメリカの発展 西アジアの改革運動	ヨーロッパの海外進出が各国の対立と産業革命につながったこと、資本主義の発展で社会主義が生まれたことを理解する。 アメリカ大陸諸国の独立の背景・過程・影響について理解する。 フランス革命の背景・過程・影響や意義と、ウィーン体制と反発する動きを理解する。 ヨーロッパ諸国の国内の動きと海外進出の動きを関連付けて理解する。 アメリカの発展と分裂の危機、メキシコの改革について理解する。 オスマン帝国の弱体化と改革の動き	資本主義や社会主義、自由主義やナショナリズムの台頭について、背景や推移、影響や意義について十分に理解している。 18～19世紀の国際関係について十分に理解している。 主体的に学習に取り組めた。
3	南アジア・東南アジアの植民地化と民族運動の黎明 清の動揺と変貌する東アジア	19世紀ヨーロッパによるインド・東南アジアの植民地化の過程について理解する。 アヘン戦争から洋務運動に至る中国の植民地化と改革の挫折について理解する。 日清戦争と日露戦争の背景・過程・影響について、日本と世界情勢の変化を結び付けて理解する。	19世紀の世界各地の歴史をそれぞれ関連付けて十分に理解している。 主体的に学習に取り組めた。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。